

こころで生きていく。

地域おこし協力隊通信  
農業公社班

◆振り返りと抱負

梅木 琴未 隊員報告

昨年は地域おこし協力隊としての初めての年でした。仕事の内容は以下の通りですが、私個人としての去年の感想は、稲刈りの機械に乗らせてもらい、公社水田を刈らせてもらったことです。難しいが、達成感がある。草刈りにも通ずる感想を得ました。



今年は、公社の業務をしつつ、梨の管理をしつつ、自分のしたい農業や、農業に関連することをやっていこうと思います。

◆今、思っていること

藤井 聖子 隊員報告

私は協力隊2年目です。2年目の中で特に印象に残っているのが新甘泉栽培です。新甘泉栽培の目的は、試験栽培です。日野郡で梨が作られたことはないが本当にできないものか?…作ったことがない者が栽培を試みる取組みです。私にとつてこの新甘泉栽培は不思議な素材です。

実際、栽培を1年間終え、無事にジョイントまで漕ぎつけてほつとすると同時に、自分に自信をつけさせてもらえたなあと感じています。

栽培2年目は協力隊最終年度にあたります。この素材に対し、昨年度より積極的に関わってみたいと思っています。



◆新甘泉栽培の紹介



▲成長した苗をポットごと掘り起こしています。折れないように慎重に運びます(10月)



▲台風に備えて、支柱に苗を誘引しています。(9月)

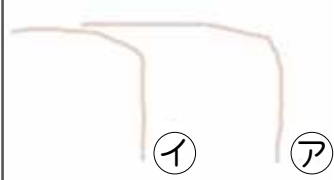


▲梨農地に、ポットごと苗を定植しています(H28年3月)

◆ジョイント作業



ジョイント作業とは



①の苗の先を薄く尖らせませます。②の苗の接ぐ箇所に切り込みを入れます。③の苗を①の切り込みに入れ、隣り合う苗をくっつけます。

小刀、専用のカンナを使います。初めは恐る恐るやっていましたが、数をこなすと慣れてきました(10月)

◆主な活動について

- 4月から11月まで
  - ・ 水稲、こんにゃく芋栽培 梨(新甘泉)の育苗
  - ・ 粳、大豆・そばの運搬
  - ・ せせらぎ公園の草刈り、清掃
  - ・ 公社田などの田起こし、田植え、稲刈りなど
- 12月から3月まで
  - ・ 新甘泉の管理(積雪時に柵に積もった雪を落とす)
  - ・ 農業大学校にて研修
  - ・ 特産品開発(こんにゃく)
  - ・ 4月以降の活動計画など